

1) システムの名称 :

HOPE LifeMark-MX (ホープライフマークエムエックス)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

1. 電子カルテ・所見記述系、2. オーダエントリー系、8. 看護・介護系

3) 特色 :

1. シェア No1 電子カルテシステムの操作性を継承したフレキシブルな製品体系
検査結果、処方箋などの情報を一画面に表示するマルチカルテビューアをはじめとする中堅規模病院向けの豊富な機能を搭載しています。
2. 蓄積された情報の利活用
電子カルテシステムに蓄積された医療情報データを、リアルタイムに活用できるデータ抽出基盤を提供することにより、研究、教育などを目的としたデータ集計や統計業務の効率化を支援します。
3. 地域包括ケアシステムの実現に向けた施設間の密な連携
地域医療ネットワーク「HumanBridge EHR ソリューション」との連携により、地域に点在する患者情報の集約・共有などを、複数の法人間で実現し、医療資源の最適化を図るとともに、地域における質の高い一貫した医療サービスを提供できる体制の整備を支援します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

データベースの一元化による統合型電子カルテシステム

当社では、患者情報を一元管理するために、オーダーリングシステム・電子カルテシステム・看護支援システムを一体化させた形でシステム構築をおこなっており、「オーダ情報」「カルテ情報」「看護情報」は全て統合型診療データベースに保存します。この手法により、連携に対する不具合の心配をなくし、患者情報の共有基盤となる「1患者1カルテ」を実現しています。

The diagram illustrates the integration of three main system components: **Ordering (オーダーリング)**, **Record (診療支援)**, and **Nursing (看護支援)**. These components are connected to a central **統合型診療DB (オーダー・カルテ・看護)**. This integration leads to a **データベースを一つに統合** (Unified Database) state, which allows for **入力内容がリアルタイムに反映** (Real-time reflection of input content) and **全ての患者情報の共有が可能** (Ability to share all patient information). This unified database supports **チーム医療の推進** (Team Medical Advancement), where all hospital staff share a common database to enter information and strongly promote information sharing for each patient, leading to the **診療に係るデータの一元化** (Unification of data related to medical treatment).

<機能一覧>

- 基本オーダツール
 - ◆処方オーダ ◆検体検査オーダ ◆移動・食事オーダ
 - ◆予約オーダ ◆病名オーダ ◆指示簿指示オーダ
 - ◆簡易オーダ
- 専門オーダツール
 - ◆放射線オーダ ◆病理検査オーダ ◆リハビリオーダ
 - ◆透析オーダ ◆生理検査オーダ ◆内視鏡オーダ
 - ◆指導料オーダ ◆細菌検査オーダ ◆注射オーダ
 - ◆処置オーダ ◆手術オーダ ◆輸血オーダ
 - ◆麻酔オーダ
- 電子カルテツール
- 看護支援ツール
 - ◆看護管理 ◆経過表 ◆看護カルテ

■オプション

- ◆診療計画 ◆診療レポート ◆ヒストリカルビュー
- ◆マルチカルテビューア ◆DPCツール
- ◆DPC管理 ◆妊婦健診管理
- ◆外注検査連携 ◆持参薬管理
- ◆チーム医療 ◆生体検査・生体画像
- ◆紹介状管理 ◆服薬指導管理
- ◆隔離拘束登録 ◆WINCARE 連携
- ◆DWH ◆歯科ツール
- ◆複数予約カレンダー ◆透析拡張
- ◆レジメン ◆統合部門ツール (手術)
- ◆統合部門ツール (透析) ◆統合部門ツール (病理)
- ◆統合部門ツール (輸血) ◆統合部門ツール (リハビリ)
- ◆統合部門ツール (放射線・生理・内視鏡)

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- (1) マスタ/コード体系
MEDIS-DC 標準病名マスタ (ICD10) 準拠
- (2) データ交換規約
■ JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3.1、JAHIS 放射線データ交換規約 Ver. 2.2、JAHIS 処方データ交換規約 Ver. 2.1、JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver. 2.0、JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver. 2.1 に基づき、HL7 Ver. 2.5 形式でのデータ出力機能を装備しています。
- (3) データ交換手法：TCP/IP ソケット会話を中心に実装
- (4) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無を記載
追加対応：無、追加費用：-
- (5) 厚生労働省標準規格（医療情報標準化指針）への対応
- ・ HS001 医薬品 HOT コードマスタ
病院様独自コードから医薬品 HOT コードマスター (HOT9) への変換機能を有しています。
 - ・ HS005 ICD10 対応標準病名マスタ
標準で採用しています。

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

「OS」サーバ：Windows Server 2016 クライアント：Windows10
「機種」サーバ：富士通 PRIMERGY シリーズ クライアント：富士通 FMV シリーズ

7) 稼動までに必要な作業・期間：

システム規模によるため要問い合わせ。

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

システム規模によるため要問い合わせ（システム価格 3000 万円～。ただし導入費用別、税別）

9) 保守の内容と費用：

システム規模によるため要問い合わせ。

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

富士通株式会社 ヘルスケアビジネス推進統括部
第三ヘルスケアビジネス推進部 TEL：03-6252-2502
関連ホームページ <http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/>
(富士通ヘルスケアソリューション紹介ホームページ)